

2005年11月9日

## 住化電子材料科技（無錫）有限公司の設備増強について

住友化学はこのほど、急速に拡大する中国の液晶パネル（LCD）用部材の需要に対応するため、「住化電子材料科技（無錫）有限公司」において、偏光フィルムの製品化工場、及び液晶テレビ用拡散板工場を増強することとしました。

LCD市場は、パソコンやモバイル電子機器用などの中小型に加えて、大型液晶テレビ用の需要が急速に拡大すると共に、液晶パネルメーカーがモジュール工程を中国へ移管する動きが急速に進んでおり、顧客からは、開発やデリバリーをタイムリーに行えるよう、中国で供給体制を拡充することを強く求められています。

当社は、中国においては上海、無錫を製造拠点として供給体制充実に努めてきましたが、今回、こうした要望に応えるために、量産工場として位置付けている無錫地区で、偏光フィルムの製品化と拡散板の能力の増強を決定いたしました。

偏光フィルムの無錫での製品化能力は、今回の増強後、中小型では現状比約2.5倍の50百万枚/月（2インチ換算）、液晶テレビ用大型品では同じく約8倍の1.6百万枚/月（32インチ換算）の能力となります。また、液晶テレビ用拡散板工場（能力5千ト/年）については、現在、第一系列を建設中であり、稼働開始を2006年2月に予定していますが、第二系列（能力5千ト/年）を新設することにしたもので、2006年春の完成を予定しています。

今後、無錫においては、偏光フィルムの製品化工場の更なる増強、原反工場の新設、液晶ポリマー（LCP）コンパウンド工場の建設等を検討する一方、華南地区においても新たな生産基地の選定を進めており、無錫・上海・華南地区の中国内3拠点で連携してより高い顧客サービスを提供し、拡大する中国の需要に的確に対応していく計画です。

以上